乳幼児健康診査





- 1 母子健康手帳を必ず持参してください
- 2 風邪症状(咳、鼻水、発熱など)があるなど、体調の悪いときは、別の日に受診してください
- 3 所要時間は、健康診査が受け付けから2時間~2時間30分程度、歯科健康診査が受け付けから 1時間~1時間30分程度です
- 4 健康診査はアンケートに記入の上、持参してください
- 5 指定された会場以外で受診を希望する場合は、1週間前までに祖父江町・平和町に在住の方は健康推進課へ 祖父江町・平和町以外に在住の方は保健センター祖父江支所(ぐ97-7000)へ連絡してください
- 6 歯科健診を受ける方は、歯みがきをしてから出掛けてください
- 7 全て無料です

間健康推進課 **€**21-2300

健康診査

名称	日時〔対象〕・場所		受付時間・内容	
1010	祖父江町・平和町以外に在住の方	祖父江町・平和町に在住の方	大门时间·内台	
4カ月児健康診査	10月10日金 [R 7.5.16~6.6生] 保健センター	10月3日飴 【R 7.5~6月生】 保健センター祖父江支所	詳しくは、事前に送付する健診 案内で確認してください。 指定された受診日の1週間前ま でに届かない場合は、健康推進課 へ問い合わせてください。	
1歳6カ月児健康診査	10月7日似 [R 6.3.1~20生] 保健センター	10月6日(月) [R 6.2~3月生] 保健センター祖父江支所		
3歳児健康診査	10月8日(水) [R 4.10.1~17生] 10月14日(水) [R 4.10.18~31生] 保健センター			

歯科健康診査

※詳しくは □ 2317 を確認してください

	名称	日時〔対象〕・場所	受付時間	内容
祖父江町・平和町以外に在住の方が対象	0歳児 歯科健康診査	11月13日休 [R 7.3月生] 保健センター	午後0時45分~1時10分 ■11月6日 付までに、市ホームページの 申込フォームから健康推進課へ	
	1歳児 歯科健康診査	10月9日休 [R 6.10月生] 保健センター		歯科診察、栄養指導、
	2歳児、 2歳6カ月児 歯科健康診査	10月2日州 〔R 5.10月生・R 5.4月生〕 保健センター	午前9時15分~10時	歯科が祭、木食指導、フッ 素塗布(希望者のみ)
祖父江町・ 平和町在住 の方が対象	総合歯科	11月28日金 0歳児 [R 7.3月生] 保健センター祖父江支所 10月22日似	【0歳児】 午後1時45分~2時 ■11月21日飴までに、市ホームページの 申込フォームから健康推進課へ	□ (○歳児・ □ (○歳児・ □ (○ (○ (○ (○ (○ (○ (○ (○ (○ (○ (○ (○ (○
	健康診査	1歳児(R 6.10月生) 2歳児(R 5.10月生) 2歳6カ月児(R 5.4月生) 保健センター祖父江支所	【1歳児】 午後0時50分~1時 【2歳児、2歳6カ月児】 午後1時15分~1時30分	

休日急病診療



当直医療機関(右表)の受付時間

土曜(内科)午後1時~4時30分 日曜、祝休日(外科)午前9時~午後4時30分

休日急病診療所 (36-3006)

診療科目 内科・小児科

受付時間 午前9時~11時30分 午後1時~4時30分

※健康保険資格確認書類(マイナ保険証など)と 現金をお忘れなく

土曜は休診です 当直医療機関へ

●環境センター ●市役所 休日急病診療所 明治市民センター

所在地

中野宮町60 (稲沢市医師会館内)

上記の受付時間外、平日夜間に急病で困ったときは 県救急医療情報センター(**ぐ** 0586-72-1133。平和 町在住の方は (*0567-26-1133) へ

外 科		内 科	
	10/4(土)	三輪小児科 ぐ 21-2342	
宮崎外科 C 21-0856	10/5(日)	休日急病診療所 ※左図参照	
	10/11生	稲垣医院 で 32-3991	
杉原内科外科医院 C 21-0832	10/12(日)	休日急病診療所 ※左図参照	
こんどう整形外科 ぐ 22-5355	10/13儭		
	10/18生	わたなべ医院 ぐ 97-7888	
みやた整形外科 ぐ 34-5055	10/19(日)	休日急病診療所 ※左図参照	
	10/25生	森上内科クリニック ぐ 97-6867	
山村外科 ぐ 32-1845	10/26(日)	休日急病診療所 ※左図参照	

の生活や遊びの様子を



丸甲保育園

とうもろこしの皮むきをしたよ!

とうもろこしの皮の枚数を友達と予想し、「1枚、2枚…」と数えながらめくる姿や、徐々に見え てくる黄色の粒に「ぎっしり並んでる」「もじゃもじゃひげもある!」と感じたことを言葉にする姿、

匂いを嗅ぐ姿など興味津々の子どもたち。クッキングを 経験する中で、苦手なものも自分から食べてみようとい う食への意欲にもつながっています。

子どもたちの五 感を育み、食事が 楽しい時間となる よう、食育の機会 を大切にしたいと 思います。





広報いなざわ 令和7年(2025年)10月号 23 22 広報いなざわ 令和7年(2025年)10月号